



第20回 「日中韓3か国地方政府交流会議」

● 平成30年度は、中国 河南省 開封市で開催されます。

- ▶3か国(日本、中国、韓国)地方政府間の国際交流・協力をより一層促進することを目的に、首長レベルの意見交換・交流ができる会議を開催しています。
- ▶優良・先進事例等の情報入手・共有が可能で、観光・食品流通・企業誘致といった自治体PRの場としても活用可能です。

会議概要

◎テーマ

メインテーマ：「北東アジア地域における互恵的連携協力体制の構築」

- サブテーマ：
- ① 伝統文化と文明進歩
 - ② 環境保護と持続可能な発展
 - ③ スマートシティと化学技術の進歩

◎開催地

中国 河南省 開封市(会場：開封開元名都ホテル 開元庁)

◎日程

平成30年10月17日(水)～20日(土)の4日間
(10月19日(金)・20日(土)開封市内視察参加の場合、帰国は10月21日(日))

◎費用負担

旅費・宿泊費・視察費用は参加自治体が負担
(鄭州新鄭国際空港、鄭州高速鉄道東駅、開封高速鉄道北駅間は指定時間内のみ送迎サービス有)

◎全体日程

10月17日(水) 20:00 第36回菊の花文化祭開幕式招待 清明上河園
10月18日(木) 終日 本会議 開幕挨拶、基調講演、主旨講演、
テーマ講演、その他、都市交流広場、
開封市状況及び経済貿易紹介会議
10月19日(金)、20日(土) 視察 《自由参加》
(清明上河園、竜亭、開封企画館、博物館、開封府、竜門石窟、少林寺等予定)

※参加の意向又は関心のある団体の皆様におかれましては、
下記担当課までご連絡ください。

TEL 03-5213-1723 E-mail koushin@clair.or.jp
FAX 03-5213-1742 交流支援部 交流親善課 (担当：齋藤・志水)





● 開封市のプロフィール

- ▶ 開封市は河南省中原地区の真ん中に位置し、黄河のほとりにあります。全市総面積は6,266平方メートル、総人口550万人、中国の八大古都の一つです。建都4,100年余りの歴史があり、北宋の時代に開封市は東京と呼ばれ、168年にわたって当時世界一の大都市として、宋代文化を育んできました。
- ▶ 開封市は中国の重要な農産品の産地で、落花生、西瓜、ニンニク、菊が特産品として有名です。古くはシルクロードの最東端の起点都市であり、現在は「一带一路」構想の中で重要な接点都市となっています。
- ▶ 中国(河南)自由貿易試験区の設立によって、沿海でも国境沿いでもない内陸都市を再び改革開放の最前線に立たせたことで、近年経済がすさまじい発展を遂げ、中原地区で最も活力がある都市となっております。



● 開封市へのアクセス

- ▶ 航空便で上海経由鄭州新鄭国際空港を使う方法と、前日航空機で北京に入り、翌朝北京西駅より、高速鉄道で開封高速鉄道北駅に行く方法があります。鄭州新国際空港、開封高速鉄道北駅及び鄭州高速鉄道東駅からは、開封市の送迎サービスが付きまます。



◎ お問い合わせ

TEL 03-5213-1723 E-mail koushin@clair.or.jp
 FAX 03-5213-1742 交流支援部 交流親善課 (担当: 齋藤・志水)



一般財団法人

自治体国際化協会 (CLAIR)

〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル6・7F

<http://www.clair.or.jp/j/exchange/chiiki/index.html>